



平成26年12月15日

各 位

会社名	虹 技 株 式 会 社
代表者名	代表取締役社長 堀田 一之
(コード	5603 東証第1部)
問合せ先責任者	取締役経理部長 谷岡 宗
(TEL	079-236-3221)

(訂正)「平成26年3月期 第2四半期決算短信[日本基準] (連結)」の一部訂正について

当社は、平成26年12月12日付「第三者委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成25年11月6日付「平成26年3月期 第2四半期決算短信」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正前および訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には_を付して表示しております。

以上

【訂正後】



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 虹技株式会社

コード番号 5603 URL <http://www.kogi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀田 一之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 谷岡 宗 TEL 079-236-3221

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	8,509	2.9	231	328.0	233	542.1	115	-
25年3月期第2四半期	8,269	△0.8	54	△85.7	36	△89.1	1	△99.4

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 619百万円 (-) 25年3月期第2四半期 28百万円 (△86.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	3.50	-
25年3月期第2四半期	0.03	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	21,064	9,581	39.9
25年3月期	20,213	9,155	40.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 8,409百万円 25年3月期 8,200百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	0.00	-	5.00	5.00
26年3月期	-	0.00	-	-	-
26年3月期(予想)	-	-	-	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,850	3.5	880	64.3	760	31.0	440	54.9	13.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	33,621,637株	25年3月期	33,621,637株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	594,954株	25年3月期	592,828株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	33,027,435株	25年3月期2Q	33,029,600株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、年央にかけての消費者マインド改善や足もとの雇用・所得環境に改善の動きがみられるもとで個人消費は底堅く推移し、企業の設備投資も持ち直しの兆しを見せてまいりましたが、景気の減速懸念もくすぶっており、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもとで当社グループは、『「品質ナンバーワン」＝「ファーストコールカンパニーを目指す」』、『技術開発への取り組みの強化』、『人材の育成』、『財務体質の更なる強化』を基本方針とする第4次3カ年計画を本年度から新たにスタートさせ、産業構造のグローバル化が進展するなか、国内の事業基盤を磐石にするとともに海外への事業展開を含めた事業の拡大に取り組み、国内においては姫路工場敷地内に太陽光発電所を建設し、海外事業においては堅調な自動車需要の拡大が見込まれるインドネシア共和国において株式会社エイチワンおよびPT. RODA PRIMA LANCARとの間で、自動車用金型鋳物および自動車用プレス金型の製造・販売を手がける合弁会社 PT. H-ONE KOGI PRIMA AUTO TECHNOLOGIES INDONESIAを設立することといたしました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、国内事業は電力料金の値上げや国内民間設備投資の回復の遅れなどにより伸び悩みましたが、海外事業の天津虹岡鋳鋼有限公司が国内の低迷を大きくカバーする状況で堅調に推移し、売上高 85億9百万円（前年同期比 2.9%増）、営業利益 2億3千1百万円（前年同期比 328.0%増）、経常利益 2億3千3百万円（前年同期比 542.1%増）、四半期純利益 1億1千5百万円（前年同期比 一）となり、増収増益となりました。

なお、上記の経常利益には、退職給付会計の数理計算上の差異の償却に係る信託株式の時価変動による損益（△は損失）を、△1億6千6百万円（前年同期 △2億6千8百万円）、同じく四半期純利益には、△1億2百万円（前年同期 △1億6千6百万円）を含んでおります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 鋳物関連事業

鋳型は、鍛造鋼塊用鋳型の需要低迷などにより、売上高は前年同期を下回りました。ロールは、主要顧客先である国内高炉・電炉各社の生産は増産基調にあるものの、客先ロール在庫の消耗量が少なく、購入量の抑制もあり、低調に推移いたしました。自動車用プレス金型鋳物は、国内市場の縮小が続くなか、国内カーメーカー主体の受注活動に努めましたが、売上高は前年同期を下回りました。大型産業機械用鋳物は、平成24年秋口以降急速に落ち込んだ工作機械業界が徐々に回復し、売上高は前年同期を上回りました。小型鋳物は、機械鋳物類が引き続き堅調に推移し、主力である新型人孔鉄蓋や次世代型高品位鉄蓋などの下水道鉄蓋の拡販や電線共同溝用鉄蓋の需要増により、売上高は前年同期を上回りました。デンスパーは、公共工事用部材向けおよび輸出の売上は増加したものの、国内産業機械向け需要の減少を補いきれず、売上高は前年同期を下回りました。

中国国内で自動車用プレス金型鋳物の生産・販売を手がける天津虹岡鋳鋼有限公司は、現地自動車産業の旺盛な需要を受け堅調に推移したことに加え、為替等の影響もあり、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は、70億4千8百万円（前年同期比 0.1%減）、経常利益 3億2千7百万円（前年同期比 3.9%増）となりました。

② その他の事業

送風機は、国内設備投資の縮小の影響を受け、厳しい受注環境が続くなか、大型送風機の受注確保、高効率ファンの浸透、耐熱ファンの受注拡大に努め、売上高は前年同期を上回りました。環境・省エネ商品のトランスベクターは、市場が不透明で前年同期のような活発な動きが無く、売上高は前年同期を下回りました。KCメタルファイバーは、国内自動車生産が回復するなか、好調な北米・東南アジア向けの自動車販売にともなう摩擦材需要にも支えられ、売上高は前年同期を上回りました。KCカーボンセラミックスは、主要顧客先であるアルミ業界向け需要が好調に推移したことなどにより、売上高は前年同期を上回りました。環境装置事業は、都市ゴミ焼却炉延命化工事の大口物件の売上により、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

この結果、当事業の売上高は、14億6千1百万円（前年同期比 20.1%増）、経常利益 1億5千万円（前年同期比 10.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、123億2千万円となり、前連結会計年度末に比べ1億2千6百万円増加いたしました。これは、主として現金及び預金が7億6千2百万円増加し、受取手形及び売掛金が6億3千5百万円減少したことなどによります。

固定資産は、87億4千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億2千4百万円増加いたしました。

この結果、総資産は、210億6千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億5千万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、82億8千万円となり、前連結会計年度末に比べ3億7千9百万円増加いたしました。

固定負債は、32億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ4千4百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、114億8千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億2千4百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、95億8千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億2千6百万円増加いたしました。これは主として為替レートの変動により為替換算調整勘定が1億6千5百万円増加したことなどによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の40.6%から39.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月8日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,003	3,765
受取手形及び売掛金	5,942	5,307
有価証券	187	—
商品及び製品	<u>1,020</u>	<u>938</u>
仕掛品	<u>826</u>	<u>1,030</u>
原材料及び貯蔵品	<u>836</u>	<u>795</u>
繰延税金資産	<u>232</u>	<u>230</u>
その他	166	217
貸倒引当金	△21	△15
流動資産合計	<u>12,193</u>	<u>12,320</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,373	1,609
機械装置及び運搬具（純額）	2,116	2,598
土地	795	795
その他（純額）	997	926
有形固定資産合計	<u>5,283</u>	<u>5,931</u>
無形固定資産	14	19
投資その他の資産		
投資有価証券	1,263	1,405
前払年金費用	1,327	1,193
その他	131	195
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	<u>2,722</u>	<u>2,793</u>
固定資産合計	<u>8,020</u>	<u>8,744</u>
資産合計	<u>20,213</u>	<u>21,064</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,053	3,062
短期借入金	2,537	2,492
未払法人税等	212	281
賞与引当金	110	110
その他	1,986	2,332
流動負債合計	<u>7,900</u>	<u>8,280</u>
固定負債		
社債	90	60
長期借入金	2,616	2,908
繰延税金負債	299	81
未払役員退職慰労金	63	50
退職給付引当金	79	86
環境対策引当金	6	6
その他	2	10
固定負債合計	<u>3,158</u>	<u>3,202</u>
負債合計	<u>11,058</u>	<u>11,483</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,002	2,002
資本剰余金	587	587
利益剰余金	<u>5,330</u>	<u>5,281</u>
自己株式	△67	△67
株主資本合計	<u>7,853</u>	<u>7,803</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	318	404
繰延ヘッジ損益	△9	△3
為替換算調整勘定	38	204
その他の包括利益累計額合計	<u>347</u>	<u>606</u>
新株予約権	5	5
少数株主持分	948	1,165
純資産合計	<u>9,155</u>	<u>9,581</u>
負債純資産合計	<u>20,213</u>	<u>21,064</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	8,269	8,509
売上原価	<u>7,240</u>	<u>7,292</u>
売上総利益	<u>1,029</u>	<u>1,216</u>
販売費及び一般管理費	975	985
営業利益	<u>54</u>	<u>231</u>
営業外収益		
受取利息及び配当金	13	14
為替差益	—	35
その他	80	18
営業外収益合計	<u>94</u>	<u>67</u>
営業外費用		
支払利息	51	42
支払補償費	33	—
その他	26	23
営業外費用合計	<u>112</u>	<u>65</u>
経常利益	<u>36</u>	<u>233</u>
特別利益		
投資有価証券償還益	—	9
特別利益合計	<u>—</u>	<u>9</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>36</u>	<u>243</u>
法人税、住民税及び事業税	132	297
法人税等調整額	<u>△158</u>	<u>△256</u>
法人税等合計	<u>△25</u>	<u>41</u>
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>62</u>	<u>201</u>
少数株主利益	61	85
四半期純利益	<u>1</u>	<u>115</u>

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>62</u>	<u>201</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△85	86
繰延ヘッジ損益	24	5
為替換算調整勘定	27	325
その他の包括利益合計	<u>△33</u>	<u>418</u>
四半期包括利益	<u>28</u>	<u>619</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△46</u>	<u>374</u>
少数株主に係る四半期包括利益	74	245

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	36	243
減価償却費	432	460
賞与引当金の増減額 (△は減少)	22	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△55	△5
未払役員退職慰労金の増減額 (△は減少)	—	△12
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5	6
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△10	—
受取利息及び受取配当金	△13	△14
支払利息	51	42
固定資産処分損益 (△は益)	3	4
投資有価証券償還損益 (△は益)	—	△9
売上債権の増減額 (△は増加)	503	733
たな卸資産の増減額 (△は増加)	88	△118
仕入債務の増減額 (△は減少)	△531	△0
前払年金費用の増減額 (△は増加)	298	133
その他	△45	△175
小計	787	1,289
利息及び配当金の受取額	13	14
利息の支払額	△52	△40
法人税等の支払額	△248	△221
営業活動によるキャッシュ・フロー	499	1,041
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△5	△50
有価証券の償還による収入	—	178
有形固定資産の取得による支出	△731	△325
投資有価証券の取得による支出	△50	△0
長期貸付金の回収による収入	0	0
その他	△0	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△787	△205
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	105	△62
長期借入れによる収入	1,349	950
長期借入金の返済による支出	△712	△776
社債の償還による支出	△30	△30
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△165	△165
少数株主への配当金の支払額	—	△27
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	546	△113
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	39
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	262	762
現金及び現金同等物の期首残高	3,022	2,992
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,285	3,754

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	鋳物関連事業	その他	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	7,052	1,216	8,269	—	8,269
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4	4	△4	—
計	7,052	1,220	8,273	△4	8,269
セグメント利益	<u>314</u>	136	<u>451</u>	<u>△415</u>	<u>36</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額△415百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△159百万円、営業外収益が39百万円、営業外費用が△26百万円及び退職給付会計の数理計算上の差異の償却に係る信託株式の時価変動による損益(△は損失)が△268百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	鋳物関連事業	その他	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	7,048	1,461	8,509	—	8,509
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3	3	△3	—
計	7,048	1,464	8,512	△3	8,509
セグメント利益	<u>327</u>	150	<u>477</u>	<u>△244</u>	<u>233</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額△244百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△116百万円、営業外収益が61百万円、営業外費用が△23百万円及び退職給付会計の数理計算上の差異の償却に係る信託株式の時価変動による損益(△は損失)が△166百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

【訂正前】



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 虹技株式会社

コード番号 5603 URL <http://www.kogi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀田 一之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 谷岡 宗 TEL 079-236-3221

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	8,509	2.9	193	11.1	195	25.2	91	28.2
25年3月期第2四半期	8,269	△0.8	173	△59.8	156	△60.0	71	△66.7

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 595百万円 (500.5%) 25年3月期第2四半期 99百万円 (△59.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	2.78	-
25年3月期第2四半期	2.17	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	21,266	9,783	40.5
25年3月期	20,439	9,380	41.2

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 8,611百万円 25年3月期 8,426百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	0.00	-	5.00	5.00
26年3月期	-	0.00	-	-	-
26年3月期(予想)	-	-	-	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,850	3.5	880	64.3	760	31.0	440	54.9	13.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	33,621,637株	25年3月期	33,621,637株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	594,954株	25年3月期	592,828株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	33,027,435株	25年3月期2Q	33,029,600株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、年央にかけての消費者マインド改善や足もとの雇用・所得環境に改善の動きがみられるもとで個人消費は底堅く推移し、企業の設備投資も持ち直しの兆しを見せてまいりましたが、景気の減速懸念もくすぶっており、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもとで当社グループは、『「品質ナンバーワン」＝「ファーストコールカンパニーを目指す」』、『技術開発への取り組みの強化』、『人材の育成』、『財務体質の更なる強化』を基本方針とする第4次3カ年計画を本年度から新たにスタートさせ、産業構造のグローバル化が進展するなか、国内の事業基盤を磐石にするとともに海外への事業展開を含めた事業の拡大に取り組み、国内においては姫路工場敷地内に太陽光発電所を建設し、海外事業においては堅調な自動車需要の拡大が見込まれるインドネシア共和国において株式会社エイチワンおよびPT. RODA PRIMA LANCARとの間で、自動車用金型鋳物および自動車用プレス金型の製造・販売を手がける合弁会社 PT. H-ONE KOGI PRIMA AUTO TECHNOLOGIES INDONESIAを設立することといたしました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、国内事業は電力料金の値上げや国内民間設備投資の回復の遅れなどにより伸び悩みましたが、海外事業の天津虹岡鋳鋼有限公司が国内の低迷を大きくカバーする状況で堅調に推移し、売上高 85億9百万円（前年同期比 2.9%増）、営業利益 1億9千3百万円（前年同期比 11.1%増）、経常利益 1億9千5百万円（前年同期比 25.2%増）、四半期純利益 9千1百万円（前年同期比 28.2%増）となり、増収増益となりました。

なお、上記の経常利益には、退職給付会計の数理計算上の差異の償却に係る信託株式の時価変動による損益（△は損失）を、△1億7千万円（前年同期 △2億6千2百万円）、同じく四半期純利益には、△1億5百万円（前年同期 △1億6千2百万円）を含んでおります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 鋳物関連事業

鋳型は、鍛造鋼塊用鋳型の需要低迷などにより、売上高は前年同期を下回りました。ロールは、主要顧客先である国内高炉・電炉各社の生産は増産基調にあるものの、客先ロール在庫の消耗量が少なく、購入量の抑制もあり、低調に推移いたしました。自動車用プレス金型鋳物は、国内市場の縮小が続くなか、国内カーメーカー主体の受注活動に努めましたが、売上高は前年同期を下回りました。大型産業機械用鋳物は、平成24年秋口以降急速に落ち込んだ工作機械業界が徐々に回復し、売上高は前年同期を上回りました。小型鋳物は、機械鋳物類が引き続き堅調に推移し、主力である新型人孔鉄蓋や次世代型高品位鉄蓋などの下水道鉄蓋の拡販や電線共同溝用鉄蓋の需要増により、売上高は前年同期を上回りました。デンスパーは、公共工事用部材向けおよび輸出の売上は増加したものの、国内産業機械向け需要の減少を補いきれず、売上高は前年同期を下回りました。

中国国内で自動車用プレス金型鋳物の生産・販売を手がける天津虹岡鋳鋼有限公司は、現地自動車産業の旺盛な需要を受け堅調に推移したことに加え、為替等の影響もあり、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は、70億4千8百万円（前年同期比 0.1%減）、経常利益 2億9千3百万円（前年同期比 31.5%減）となりました。

② その他の事業

送風機は、国内設備投資の縮小の影響を受け、厳しい受注環境が続くなか、大型送風機の受注確保、高効率ファンの浸透、耐熱ファンの受注拡大に努め、売上高は前年同期を上回りました。環境・省エネ商品のトランスベクターは、市場が不透明で前年同期のような活発な動きが無く、売上高は前年同期を下回りました。KCメタルファイバーは、国内自動車生産が回復するなか、好調な北米・東南アジア向けの自動車販売にともなう摩擦材需要にも支えられ、売上高は前年同期を上回りました。KCカーボンセラミックスは、主要顧客先であるアルミ業界向け需要が好調に推移したことなどにより、売上高は前年同期を上回りました。環境装置事業は、都市ゴミ焼却炉延命化工事の大口物件の売上により、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

この結果、当事業の売上高は、14億6千1百万円（前年同期比 20.1%増）、経常利益 1億5千万円（前年同期比 10.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、125億2千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億2百万円増加いたしました。これは、主として現金及び預金が7億6千2百万円増加し、受取手形及び売掛金が6億3千5百万円減少したことなどによります。

固定資産は、87億4千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億2千4百万円増加いたしました。

この結果、総資産は、212億6千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億2千6百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、82億8千万円となり、前連結会計年度末に比べ3億7千9百万円増加いたしました。

固定負債は、32億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ4千4百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、114億8千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億2千4百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、97億8千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億2百万円増加いたしました。これは主として為替レートの変動により為替換算調整勘定が1億6千5百万円増加したことなどによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の41.2%から40.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月8日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,003	3,765
受取手形及び売掛金	5,942	5,307
有価証券	187	—
商品及び製品	<u>1,340</u>	<u>1,306</u>
仕掛品	<u>868</u>	<u>1,024</u>
原材料及び貯蔵品	<u>848</u>	<u>819</u>
繰延税金資産	<u>83</u>	<u>96</u>
その他	166	217
貸倒引当金	△21	△15
流動資産合計	<u>12,419</u>	<u>12,521</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,373	1,609
機械装置及び運搬具(純額)	2,116	2,598
土地	795	795
その他(純額)	997	926
有形固定資産合計	<u>5,283</u>	<u>5,931</u>
無形固定資産	14	19
投資その他の資産		
投資有価証券	1,263	1,405
前払年金費用	1,327	1,193
その他	131	195
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	<u>2,722</u>	<u>2,793</u>
固定資産合計	<u>8,020</u>	<u>8,744</u>
資産合計	<u>20,439</u>	<u>21,266</u>

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,053	3,062
短期借入金	2,537	2,492
未払法人税等	212	281
賞与引当金	110	110
その他	1,986	2,332
流動負債合計	<u>7,900</u>	<u>8,280</u>
固定負債		
社債	90	60
長期借入金	2,616	2,908
繰延税金負債	299	81
未払役員退職慰労金	63	50
退職給付引当金	79	86
環境対策引当金	6	6
その他	2	10
固定負債合計	<u>3,158</u>	<u>3,202</u>
負債合計	<u>11,058</u>	<u>11,483</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,002	2,002
資本剰余金	587	587
利益剰余金	<u>5,556</u>	<u>5,482</u>
自己株式	△67	△67
株主資本合計	<u>8,078</u>	<u>8,004</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	318	404
繰延ヘッジ損益	△9	△3
為替換算調整勘定	38	204
その他の包括利益累計額合計	<u>347</u>	<u>606</u>
新株予約権	5	5
少数株主持分	948	1,165
純資産合計	<u>9,380</u>	<u>9,783</u>
負債純資産合計	<u>20,439</u>	<u>21,266</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	8,269	8,509
売上原価	<u>7,120</u>	<u>7,331</u>
売上総利益	<u>1,148</u>	<u>1,178</u>
販売費及び一般管理費	975	985
営業利益	<u>173</u>	<u>193</u>
営業外収益		
受取利息及び配当金	13	14
為替差益	—	35
その他	80	18
営業外収益合計	<u>94</u>	<u>67</u>
営業外費用		
支払利息	51	42
支払補償費	33	—
その他	26	23
営業外費用合計	<u>112</u>	<u>65</u>
経常利益	<u>156</u>	<u>195</u>
特別利益		
投資有価証券償還益	—	9
特別利益合計	<u>—</u>	<u>9</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>156</u>	<u>204</u>
法人税、住民税及び事業税	132	297
法人税等調整額	<u>△109</u>	<u>△270</u>
法人税等合計	<u>23</u>	<u>26</u>
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>132</u>	<u>177</u>
少数株主利益	61	85
四半期純利益	<u>71</u>	<u>91</u>

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>132</u>	<u>177</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△85	86
繰延ヘッジ損益	24	5
為替換算調整勘定	27	325
その他の包括利益合計	<u>△33</u>	<u>418</u>
四半期包括利益	<u>99</u>	<u>595</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>24</u>	<u>350</u>
少数株主に係る四半期包括利益	74	245

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	156	204
減価償却費	432	460
賞与引当金の増減額 (△は減少)	22	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△55	△5
未払役員退職慰労金の増減額 (△は減少)	—	△12
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5	6
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△10	—
受取利息及び受取配当金	△13	△14
支払利息	51	42
固定資産処分損益 (△は益)	3	4
投資有価証券償還損益 (△は益)	—	△9
売上債権の増減額 (△は増加)	503	733
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△31	△80
仕入債務の増減額 (△は減少)	△531	△0
前払年金費用の増減額 (△は増加)	298	133
その他	△45	△175
小計	787	1,289
利息及び配当金の受取額	13	14
利息の支払額	△52	△40
法人税等の支払額	△248	△221
営業活動によるキャッシュ・フロー	499	1,041
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△5	△50
有価証券の償還による収入	—	178
有形固定資産の取得による支出	△731	△325
投資有価証券の取得による支出	△50	△0
長期貸付金の回収による収入	0	0
その他	△0	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△787	△205
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	105	△62
長期借入れによる収入	1,349	950
長期借入金の返済による支出	△712	△776
社債の償還による支出	△30	△30
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△165	△165
少数株主への配当金の支払額	—	△27
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	546	△113
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	39
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	262	762
現金及び現金同等物の期首残高	3,022	2,992
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,285	3,754

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	鋳物関連事業	その他	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	7,052	1,216	8,269	—	8,269
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4	4	△4	—
計	7,052	1,220	8,273	△4	8,269
セグメント利益	<u>427</u>	136	<u>564</u>	<u>△408</u>	<u>156</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額△408百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△159百万円、営業外収益が39百万円、営業外費用が△26百万円及び退職給付会計の数理計算上の差異の償却に係る信託株式の時価変動による損益(△は損失)が△262百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	鋳物関連事業	その他	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	7,048	1,461	8,509	—	8,509
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3	3	△3	—
計	7,048	1,464	8,512	△3	8,509
セグメント利益	<u>293</u>	150	<u>444</u>	<u>△248</u>	<u>195</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額△248百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△116百万円、営業外収益が61百万円、営業外費用が△23百万円及び退職給付会計の数理計算上の差異の償却に係る信託株式の時価変動による損益(△は損失)が△170百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。